

## 鹿児島市及び連携中枢都市圏3市の市民活動団体のご紹介

通りをいろんな人が歩く姿をこのまちに残したい



eimon park bazaar 坂口 喜代美(さかぐち・きよみ)

昨年からはまった「eimon park bazaar」を主催している栄門通り会。付近には小中学校や専門学校、短大に自動車学校などがあり、多くの若者が交わるまちが栄門だ。以前は大きなお祭りなども開催していたが、人口減少に伴い空き店舗や空き家が増えている。そんな栄門に再び活気を取り戻すべく、「eimon park bazaar」を発案した坂口喜代美（さかぐち・きよみ）さんに話を聞いた。

### 「このまちで何かしたい」の思いを小さく始めること

実は、去年は通り会の解散の話が出ていました。ですが、解散するのも大変なので、会費を徴収しない、という形で存続しています。

前からマルシェみたいな企画をやりたいかったけど、どうすればいいかわからない状態でした。その後、娘にも影響を受けつつ、リノベーションスクールに参加していろんな地域のマルシェやまちづくりを勉強するうちに、「自分にもできるんじゃないかな」って思い始めました。そんな中、騎射場のきさき市を主宰する須部さんの講演を聴き、騎射場の課題や状況が栄門とそっくりだと分かったんです。「小さく始めることが大事」と教わり、市の公園緑化課に何度も足を運んで、バザーなら公園の使用許可も下りるということが分かったので、バザーという形で開催することにしました。

### 自分たちが住んでいて「楽しい!」と思える「まち」にしたい

以前は国道沿いに大きなスーパーがあって、そこの駐車場で花火も上がるくらい大きな栄門祭りをしていました。でも、平成5年の水害が起きてから、少しずつ活気が無くなっていったように感じていました。通り会の加盟店舗数も減り、残っているその多くはチェーン店。個人で頑張っているお店は本当に少なくなりました。

若い世代の人は、決して少なくなっているはいないんですよ。学校もあるし、塾も多い。でも、栄門で買い物をすることが減ったんです。買い物にはアミュプラザや天文館、イオンに行く。お茶をするところもなければ、パン屋さんもない。みんながこのまちを歩かなくなりました。

「eimon park bazaar」をやってみて、街中をベビーカーを押している人や、手を繋いで歩いている親子などを見ると、この風景が残るといいなあって思います。若い世代は少なくないんです。関わることはあるけど、ゆっくり話す機会が全然なくて。なので、若い世代の人たちがこのまちで買い物するようになってほしい。雑貨屋さんとか、お惣菜屋さんとか、パン屋さんとか。そんなお店が増えると、きっと住んでて楽しいと思うんです。

2020年の「eimon park bazaar」は5月と11月に開催予定です。11月は鹿児島県立短期大学の学園祭と同時開催を予定しています。栄門を歩いてもらい、思いっきり楽しんでほしいんです。

昔は、栄門ではなく「宮門」だったらいいんです。たぶん、商売が生まれていったまちだったんじゃないかな。なので、自分で何かしたい人を温かく迎えられそうな、ここから何かをスタートできるまちになればいいですね。

## こだわりを持つことが大前提

地域の強みは、やはり学校が多いことです。子どもがたくさんいて、町内会の行事も他の町内会と比べると、珍しいと思うくらいにたくさんあります。そしてそんな行事を支えるお年寄りの方もみんな元気ですね。

「eimon park bazaar」で大事にしていることは、出店者は個人店の方のみとしていること。そして、飲食でも物販でも、こだわりを持っていることが大前提です。きっとそれは「eimon park bazaar」の強みでもあります。

## いろんな世代の人がいるチームで挑戦したい

今、目の前の困りごとはスタッフ不足です。第2回的时候は30名くらいのスタッフでした。駐車場で対応をしてくれたり、来てくれたお客さんとコミュニケーションを取ってくれる当日スタッフや、準備段階からお手伝いしてくれる実行委員もまだまだ少ない。人手が足りていないと、様々な対応が後手後手になるので、良くないですね。関わってくれる人が増えたら、もっと良くなる。いろんな世代の人に実行委員会に入って欲しいなと思ってます。独身の人も、学生さんも、子育て世代の方も。たくさんいてくれたら、もっと色々なことにも挑戦できるし新しい展開が見えてくると思います。

# 栄門通り会 団体概要

### <活動内容>

通り会としての主な活動は「eimon park bazaar」の開催

### <課題への取り組み>

通り会の会員も少なく、人手不足に悩んでいる。地域内外からバザーのスタッフとして携わってくれる人を募っている。

### <今後の展望>

文教地区の良さをいかして、今以上に他の学校にも参加してほしい。空き家、空き店舗の活用をすすめ、出来ればゼロにしたい。来場者の範囲を周辺の団地にも拡げて、栄門で日常の買い物ができるようにしたい。

▷名称：栄門通り会

▷代表者名：宇都 正博

▷会員数：38店舗

▷主な事業：・国道沿いの花壇の管理  
・eimon park bazaar

▷連絡先：(TEL) 090-1979-8996  
(MAIL) saka.berger0916@gmail.com

